

社団法人 埼玉私保連



広報

No.119

H25. 10. 31

発行



バッタやミミズの誘惑はねのけ
とった獲物はデッカいも！

Saitamaken Siritu Hoikuen Renmei

地区懇談会報告

東部地区

日時 7月24日

14:00～16:00

場所 春日部市内「デニース」
参加者 8名+オブザーバー1名



懇談会内容 こども子育て新制度の具体化で保育園がどうなるのか、市町村のこども子育て会議に保育園の代表がどう関われるのか、大人の状況ではなく、子どもの生活を中心にした制度に、市内の就学前児童全体を市町村としてどうするのか、そういう観点から参加、発言して行く必要があるのではないか。多くの園では模様眺めの状況であるが、児童福祉法第1項が残ったことから、具体的内容において今までの保育園に対する諸制度を後退させないよう中央を見守って行く必要がある。放課後児童クラブがどうなるのか、各園の問題などが話し合われた。

西部地区

7月23日(火)富士見市立ふじみ野交流センターにて、16園17名の参加者で西部地区懇談会を行いました。仲よし保育園長の水上克己先生から『子ども・子育て支援新制度とこれからの保育園』について話していただきました。その後、『新制度の問題点やこれからの保育をわれわれがどう考え、そのためにどうしたらいいのか』など、参加者で意見交流を行いました。その中で各自自治体により補助金などが大きく違うことを改めて確認しました。最後には、「各自自治体の単独補助金を後退させないために、各自自治体単位にとどまらず、出来る限り近隣の自治体の園が手を繋ぎ運動していこう。」「日本の今まで積み上げてきた保育実績やサービスではない地域に根ざした保育園として親との関係を大切にしていこう。」「現在の子どものための保育を発展させるため、みんなで手を繋ぎ、新制度が良い方向に向かうようにしよう。」などを確認し合い終わりました。

南部地区

日時 8月2日

13:00～16:00

場所：中丸保育園
参加人数：10名(参加園8園)

今回は、2年前に改築をされた中丸保育園の施設見学とともに、南部地区の懇談をおこないました。前半は施設見学、後半は自由討議を致しました。広大な敷地に、保育園の塔と、子育て支援センター(行事用ホール兼)の塔、園庭があり、畑があり、木のぬくもりと、広い空間は本当にうらやましい限りでした。南部地区ではビルの中や園庭もない保育園が増えていますが、子ども集団が生活し、育つ場である保育園の環境として大事なものを改めて見せて頂いて気がしました。改築に当たっては、理事長先生が他園を沢山見学してきて参考にされたとの事で、設備に関しても様々な工夫があり、とても参考になりました。後半の自由討議も、施設見学後の質疑が中心となりました。広大なゆえに管理の大変さもある事を伺い、園庭の草取りの話から、駐車場整備費、完全給食

(主食) 費、など保護者からの徴収金についてなど、参加園の情報交換となりました。子ども・子育て新制度については、保育園同士が共に歩むというよりも、競争させられることが危惧されるとの意見がありました。そのため、さいたま市では近くの園同士が、保護者の徴収金などについても、その根拠、金額の理由など、よく情報交換をしているとのことでした。延長保育料金の保護者からの徴収金では、鴻巣市は市が保護者からの徴収



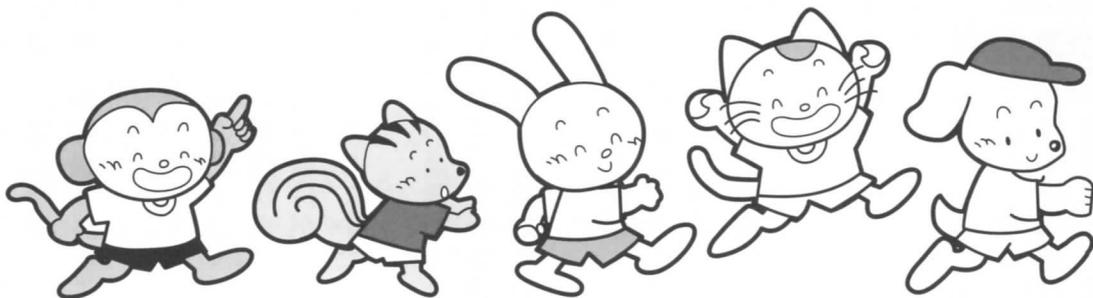
をしていないので、私立園も徴収金をしていないという情報もありました。市町村の子ども・子育て会議については、次世代育成がそのまま移行するようだという以外に、どの自治体もまだ施策が見えていないのが現状のようです。保育士等処遇改善臨時特例事業費について、賞与の上乗せではなく、特例交付金として別に支給した方がよい、今年度限りという可能性もあり、その場合は翌年の社会保険や所得税の影響が心配だという話も出ました。

北部地区

7月12日(金) 深谷市南公民館に於いて北部地区の懇談会が持たれました。直前に来られなくなった園がかなりあり、参加は5市町村8名でしたが、地域の状況を詳しく出し合ったり、新しい制度の矛盾について学習したり、深い話し合いとなりました。まず、加藤副会長より、全国私保連の総会の報告があり、それと共に、新制度では保護者の就労時間に合わせて子どもの

保育時間が決められる事になるが、「子どもの保育を受ける権利を実質的に保障する観点から判断すべき」という、日弁連の意見書に共感するとの発言がありました。寄居町では民間保育園連絡会の代表が子ども子育て会議に参加する事になっている。それまでの討論や昨年度の要望内容を踏まえ、今年度県への強い要望としては、

- ① 実態に合った受け持ち人数に・1歳児加算の堅持(4:1)・3歳児の基準を15:1
 - ② アレルギー児の補助を1人からに
 - ③ 発達障がいのお子さんの補助を医療機関の診断書がなくても保健師さんや臨床心理士等の判定でもらえるようにしてほしい。
- また、最低8時間の保育時間を基準とする事や、認定子ども園との運営費格差をつけさせないよう、県からも国に働きかけてもらいたい。
- 国で決定して下りてくる前に、個人としての意見を国に伝える事が大事…と確認されました。



平成26年度埼玉県の 施策並びに予算編成に 対する要望について

平成25年9月11日、埼玉県保育三団体による保育平成26年度埼玉県保育関係事業の実施並びに係算編成に対する要望が行われました。



少子・高齢化社会の進行や社会構造の変化は著しく、保育に対するニーズも多様化してきています。特に保育所は乳幼児が生涯にわたる人間形成の基礎を培う極めて重要な時期に、その生活時間の大半を過ごす場所であることから、子どもの健康、且つ、安全で情緒の安定した生活ができる環境を

用意し、自己を十分に発揮しながら活動できるようにすることが必要となります。その為には、行政をはじめ私たち保育関係者が子どもの立場に立って、健全な心身の発達を図れるよう、努めなければなりません。

1 埼玉県の子ども・子育て会議への参画について
埼玉県の「子ども・子育て会議」の構成員として、保育支援事業に従事し、埼玉県内の多くの保育関係者が加入する、埼玉県保育協議会、埼玉県私立保育園連盟、日本保育協会埼玉支部の3団体を明確に位置づけていただきたい。

3 施設整備費について

(1) 老朽化の著しい保育所について、施設機能の強化や利用者サービスの質



埼玉県保育協議会、埼玉県私立保育園連盟、日本保育協会埼玉支部の三団体は、平成26年度の予算編成にあたり下記要望事項を埼玉県へ提出しました。

(2) 改正児童福祉法第56条2では、施設整備補助金は「保育所を除く」となっている。参議院付帯決議にある安心子ども基金の水準維持がはかられるよう、国に働きかけていただきたい。

4 子どもへの処遇改善について

(1) 子どもに対する処遇の向上のため、県・市町村による専門家チーム等により、気になる子を県独自で認定し、県単独の障害児保育対策補助金を創設していただきたい。なお、保育所への入所月から補助対象としていただきたい。

保育功労賞受賞 おめでとうございます

高尾保育園 理事長兼園長 木村 嶺子



この度は「保育功労賞」を頂き、有難く感謝申し上げます。高尾保育園は家庭保育室から13年後に始めた保育園です。当初は補助金も少なく経営はとても大変でしたが、保護者の皆さまから沢山の知恵と協力を頂き、35年間事故もなく過ぎ、振り返ってみると短く感じました。

近頃は保育行政も年々変化しています。保護者も子ども達も文化と共に変わってきており、その世代に適応できるよう努力が必要です。

受賞を励みとして、今後も子ども達が健康で、笑顔で、自然の中で伸び伸びと、ゆったり学び体験できるよう、当園の発展に尽くしたいと思います。

中丸保育園 理事長 新島 一彦



本年6月5日～7日に宮崎市で開催された、全国私立保育園連盟主催の第56回全国大会において、保育功労賞を頂きました。先輩諸氏に比べ、まだ経験の浅い私にとりましては、身に余る光栄です。これもひとえに、これまで一緒に活動を続けてきた埼玉県私立保育園連盟の役員の方々をはじめ、会員の皆様のご協力のお陰であり、心より感謝申し上げます。

昨年の2012年8月には、子ども・子育て支援関連法が成立し、消費税も2014年4月から8%への値上げが決定されました。政府は、子ども・子育て支援法の2015年4月からの本格的施行に向けて、「子ども・子育て会議」を設置し、詳細な検討が始まっています。新制度に対しては、多くの問題点が指摘され、反対運動も大きな広がりを見せました。市町村の保育実施義務（児童福祉法24条1項）は、なんとか残すことができましたが、保育の市場化という本質は変わっていません。子どもたちの健全な発育がきちんと保障されるような制度改革が必要です。

微力ではありますが、今後も皆様と一緒に活動して参りたいと思いますので、よろしく願いいたします。

この情報交換会報告

調査部では昨年実施した「就職に際しての学生意識アンケート」での現代の学生の意識をふまえ、9月19日に養成校の先生方と埼玉私保連の園長との情報交換会を持ちました。

このような交換会は県内では初めてでしたが、活発な意見や本音が出されて有意義な催しとなりました。

養成校の先生方からも好評でこのような企画を今後も続けてほしいという要望がありましたので来年度も継続していきたいと思えます。

会長挨拶のあと5グループに分かれ、養成校の先生と保育園長とで活発に意見交換しました。

以下当日の会場で話された内容を分科会の発表者の報告を基にまとめてみました。

Aグループ

今の学生は家庭で大事に育てられ過ぎていることもありコミュニケーションが苦手である。2月～3月は養成校(4大)は授業がないので保育園に行つて子どもと接する機会を増したらどうか。

保育園に就職した先輩から園の様子を母校に知らせてもらえるような機会は学生に好評である。

Bグループ

今の学生は就職にあたって親の意向を大切にすることも多く、入学式・卒業式に両親が付き添うケースもある。(モンスターパーレントもいる)

授業が忙しくてなかなか保育園にまで行けないのもっと保育園側からのPR(ホームページ等)をしてほしい(視覚で訴える方が効果的)

就職を前提にしないと学生の

保育園見学はできないと思っていたので、フランクに見学できることはありがたい。

学校が推薦する学生は基本的に優秀です。

Cグループ

採用試験でピアノが必要か否かは学生にとっては重要なので求人票に明記してほしい。ピアノ以外の楽器(特技として)でもよければそれも明記してほしい。

Dグループ

埼玉県内保育園の合同就職説明会を7月か8月に開催してほしい。学生も参加しやすい。

Eグループ

今の学生は打たれ弱い子が増えてきている。注意されたことで自分を否定されたかと思ってしまう学生もいる。実習ノートの誤字

養成校と保育園長と



脱字の指摘も多いので漢字テストをしている学校もある。

最後に埼玉私保連の水上副会長から、現在はめまぐるしく価値観が変わっていく時代であるからわれわれ現場の保育者も毎日学びなおしている。

ましてや新卒の保育士が現場に入ると戸惑うのは当たり前なので、おじけづかずに時間をかけても良いので子どもを育てる意味を学びながら自分が育っていきけるように養成校と保育園とで新人の育成をしていきたいと思います。

埼玉私保連では昨今の保育士不足の現状これからの新卒学生確保に向けて、養成校との連携を重点課題として取り組んでいきます。

下記の点について、参加していただける園がありましたら埼玉私保連までご連絡ください。

- 1 オープンな保育園見学受け入れ園について
就職を前提としてではなくオープンに見学を受け入れる
(時期については今後養成校と相談します)
 - 2 埼玉私保連のホームページから各園のホームページにリンクし各園のイベントや求人情報等パソコンでの検索をしやすくする
- 来年度は新卒学生向け「合同就職説明会(埼玉県内の保育園)」を開催する予定もあります。

埼玉県私立保育園連盟新規加入園

2013年9月現在

経営主体	園長名	園名	住所	TEL
社会福祉法人 高栄会	高橋ひさの	さくらんぼ保育園	川越市	049-293-6581
社会福祉法人 みずほ愛育会	関根衣都美	けやきわかば保育園	富士見市	049-253-8811
社会福祉法人 宮原ハーモニー	島村よう子	ハーモニーえがお保育園	さいたま市北区	048-782-5500
社会福祉法人 正友会	柿澤 和江	くすのき保育園	さいたま市北区	048-796-4901
社会福祉法人 慈悦会	吉田 由子	風の子第二保育園	川越市	049-227-7200
社会福祉法人 陽だまり会	多田 郁子	三郷ひだまり保育園	三郷市	048-951-0881
社会福祉法人 けやき福祉会	渡部 大輔	汽車ぼっぼ保育園	川口市	048-295-7599
社会福祉法人 ふじみ野会	高野 和久	子どものその保育園	ふじみ野市	049-266-3332
社会福祉法人 どんぐり会	久保田泰雄	どんぐりっこ保育園	鴻巣市	048-501-8285
社会福祉法人 陽だまり会	平野千恵子	朝霞ひだまりの森保育園	朝霞市	048-423-4492
社会福祉法人 白い馬会	岡久 博	白い馬保育園	比企郡滑川町	0493-56-6108
あけぼの学園	三浦芳二郎	のもと保育園	東松山市	0493-25-4188
あけぼの学園	三浦富美子	あけぼの幼児園	入間郡毛呂山町	049-295-2340

新任園長紹介

2013年9月現在

園名	園長名	住所
第二くるみ保育園	高橋 陽子	熊谷市

☆☆ 編集後記 ☆☆

秋になり、運動、仕事に集中しやすい気候となりました。減量のためスポーツジムへ通っていますが、運動量以上に摂取量が過剰になっているようです。この時期、新米や野菜や魚など、とても美味しく頂ける上、何より酒も美味しく感じます。近日中に予定されている健康診断が不安になっています。(M・K)

事務局 (社)埼玉県私立保育園連盟
〒363-0015 桶川市南2-7-13
桶川中央マンション2F
TEL 048(772)8623
FAX 048(772)8635

保育園および園児を さまざまナリスクからサポートします

全私保連
保険制度

園児総合保障
共済制度

上記以外にも、「学童保育」や「園舎の火災保険」などの、
保険を取り扱っております。ご照会は、下記連絡先にどうぞ。

(社)全国私立保育園連盟指定・
東京海上日動火災保険株式会社代理店

有限会社ゼンポ

〒111-0051 東京都台東区蔵前4-11-10 全国保国会館内
TEL 03-3865-3881 FAX 03-3865-2806

